

あなたの合格を全力でサポートします！

2級土木施工管理技士

一次・二次コース

一次コース

二次コース



女性が選ぶ資格スクール

No.1



建築のプロがおすすめする建築士講座

No.1



大学生が選ぶ資格スクール

No.1

日本マーケティングリサーチ機構 調査概要：2020年4月期_ブランドのイメージ調査

日建学院の2級土木施工管理技士講座は種別「土木」のみ対応しております。「鋼構造物塗装」「薬液注入」は対応していません。



TOP INTERVIEW

株式会社建築資料研究社は、
1969年に建設関連の出版事業を創業して以来、
多くの皆さまにご愛顧いただき、2024年8月に創立55周年を迎えます。
創業者／馬場瑛八郎は、日本大学 工学部 建築学科を卒業後、
設計事務所に勤めながらも苦勞して一級建築士を取得し、
『これから建築士取得を目指す方々に同じ苦勞をさせたくない』その思いから
資格受験予備校「日本建設実務学院」が設立されました。(現在の日建学院)
私も大学の建築学科を卒業後、建設会社で現場管理の仕事をするかたわら
日建学院に通い一級建築士、一級建築施工管理技士を取得しました。
仕事を続けながらの受験勉強は決して楽なことではありません。
仕事と勉強の両立はつらいことも多く、学習の継続は大変です。
しかし、それを乗り越え合格できる環境が日建学院にはあります。

HISTORY

- 2005年 登録講習機関として許可を受け「宅建登録講習」を開講
- 2004年 実施協力機関として「監理技術者テレビ講習」を開講
- 2002年 Webオンライン学習システム「ニッケンbbスクール」スタート
- 1995年 (社)全国建設業協会と提携し(株)建設産業振興センター設立に参加
- 1990年 インテリア雑誌「コンフォルト」創刊
- 1989年 日建学院100校目開校
- 1986年 「1級/2級土木・造園・管工事・測量士補講座」開講
- 1985年 「1級/2級建築施工管理技士講座」開講
- 1983年 シリーズ書籍「建築設計資料」創刊
- 1982年 建築専門学校「東京日建工科専門学校」開校
- 1980年 日建学院60校目開校
- 1979年 「日建新聞」創刊
- 1978年 「土地家屋調査士講座」開講
「宅地建物取引主任者(現取引士)」開講
- 1977年 日建学院 映像講座制作の為、本社内にスタジオ・編集室設置
基本建築基準法関係法令集(オレンジ本)創刊
- 1976年 日建学院開設 東京校(1・2級建築士学科・設計コース)
- 1975年 雑誌「住宅建築」創刊
- 1973年 カセットによる建築士養成講座発売
- 1972年 コンピューターによる建築構造計算システムを開発
雑誌「庭」・積算ポケット手帳」を創刊
- 1970年 原図資料集発売
- 1969年 株式会社建築資料研究社創立

日建学院で学び合格できた喜びを一人でも多くの方々に経験していただきたい。

この業界のトップランナーとして駆け続けたこれまでとともに、

創業者の想いを受け継ぎ、これからも社会に貢献できる企業であり続けるため、

頑張る人々を全力でサポートし続けます。



代表取締役 馬場 栄一

1992年 3月 早稲田大学 理工学部 建築学科 卒業

1992年 4月 大成建設株式会社東京支店 入社
(現場管理)東京:恵比寿ガーデンプレイス建築工事ほか
大阪:泉大津ポートタワー-建築工事ほか

*在職中に一級建築士/一級建築施工管理技士 取得(日建学院 通学)

2000年 1月 株式会社建築資料研究社 入社

2000年 4月 住宅事業本部 本部長

2002年 4月 学院本部 本部長

2007年 5月 営業本部 取締役

2007年 7月 代表取締役社長 就任
現在に至る



2024年 創立55周年

2021年 日建学院建築士講座が日本マーケティングリサーチサーチ機構の調査により10部門でNo.1を獲得

2020年 日建学院が日本マーケティングリサーチ機構の調査により3部門でNo.1を獲得

2019年 創立50周年

2015年 日建学院開校 40周年

2014年 8月に創立45周年となる

2012年 スマートフォン・タブレットでも講義視聴が可能となる配信システムを構築

2011年 個別講座を扱う日建学院公認スクールを全国に展開

求職者支援訓練、都道府県委託訓練を全国で展開

2010年 厚生労働省雇用対策緊急人材育成支援事業による「基金訓練」建築・不動産・パソコン簿記養成講座を開始

2009年 建築士や土木講座を扱う日建学院認定校を展開

(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)認定講習を開始

2008年 日建学院教室内「個別ブース」学習スタイルスタート

2006年 国土交通大臣の登録をうけた実施機関として「宅建実務講習」を開講
1・2級建築士、宅建、個別指導システムスタート

日建学院の母体である建築資料研究社は、建設業界向けの資料集や書籍、専門誌などを50年以上発行している出版社。建設業に携わる事業所には、必ずそれらの市販書が置かれているはず。

なぜ日建学院は「映像学習」なのか？

生講師による講義からスタートした日建学院。

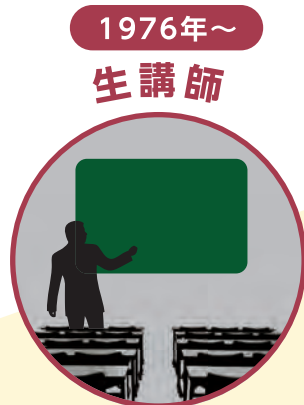
より高い成果、効率的な学習方法を求めて試行錯誤するなかで、

「映像学習」の講義スタイルという選択肢が現れました。

試験的導入の結果、合格率の高い「映像学習」を選択。

歴然の差の前に、「映像学習」の効果を突きつけられたこと。

映像一筋で比類ない実績を出し続ける日建学院の原点です。



1976年～

生講師

はじめ

1977年～
補習用として **映像学習** をスタート



「映像学習」のきっかけ



1981年～

生講師 or 映像学習

比較・検証結果

全員合格を目指すなか、

「欠席者も含め、全員合格して欲しい」

という思いから補講VTRを制作。

その後、全国展開するなかで、各校の講師のレベル較差が合格率の差となって表れました。

そこで、講師のレベル較差をなくし安定した高い合格率を求め「映像学習」の講義スタイルにする教室が増えていきます。

Answer

生講師の教室と「映像学習」の教室の受講生を比較すると、

「合格率が平均的に10%高い実績！」

合格にこだわるため、受講生の声と合格実績から「映像学習」を選択。

全国一律の圧倒的な講義力で今に至ります。

1998年～

デジタル映像移行



クオリティを
追求し続ける

1989年～

映像学習



合格にこだわる選択
「映像学習」の講義スタイルへ

「つまずきやすい」が
「わかる」に変わる。

文章ではイメージしにくい内容などは、実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど、理解するために最適な表現方法で映像化。質問の多い箇所やテストで正答率の低い箇所は「よりわかりやすい」映像表現を求めて、毎年、進化を続けています。「つまずきやすい」を「わかる」に変えるまで工夫を重ねた映像講義だから「よくわかる」「疑問が残らない」と好評です。

映像の学習効果は 脳科学でも立証。

人間の脳には日々、膨大な情報が入ってきます。これを脳の海馬という器官が取舍選択し、海馬が選んだ情報だけが脳に送られ、記憶として保管されるのです。脳科学の世界では、文字や聴覚だけの情報に比べ、映像情報のほうが海馬の記憶に残りやすいと言われています。試験の本番中に「講義で見た映像がよみがえった」。毎年、多くの受講生から聞く声です。

映像学習の特長

Ⅰ

視覚と聴覚の2つの感覚機能を同時に促すので、理解力と記憶力に優れている。

※人間は、多くの感覚器官が刺激を受けるほどに物事を理解・記憶しやすいという生理的特徴があります。

映像学習の特長

Ⅱ

残像現象の効果により、記憶した知識をよみがえらせ、使わせる想起度が高い。

※想起度とは、過去に学習したことや出来事を思い出す割合を示します。

映像学習の特長

Ⅲ

適切な講義時間の配分のもとに制作されているため、時間対効果が高い。

※講師の調子や質問によって時間配分が変わり、重要事項が抜ける、駆け足になるようなことはありません。

映像学習の特長

Ⅳ

フレーム効果の特徴によって、講義の内容に、自然に集中することができる。

※フレームの中にある景色には視線が自然に固定される効果があるため、しっかり観ることができます。

映像学習の特長

Ⅴ

講師や制作関係者が創意工夫をこらし、質の高いベストな講義を生み出している。

※生講師の講義は、講師一人ひとりのレベルや質、その日の調子などに左右されます。

日建学院の「映像」の質

ここが違う!!

よそ

他の映像



講義の定点撮影

とは違う!

日建学院の映像



完全オリジナル撮影・編集

一般的な映像講義とは、教室の後ろから定点撮影した映像を編集したものです。

日建学院の高合格率を支える最高品質を追求する映像は、

最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、完全オリジナル撮影・編集。

講義時間の数倍の時間をかけ、CGやアニメーション等も盛り込んだ、頭と心に残る映像だから違いが出ます。



講義映像ができるまで

STEP.1 会議

合格に直結する映像をめざし
クオリティをとことん追求

最新の試験情報、業界動向を徹底的にチェック&精査し、試験に必要な知識をいかにわかりやすく、覚えやすく盛り込むかを相談します。講師だけでなく教材制作者や試験分析官など、各分野のプロが意見を出し合い、内容を細部まで緻密に丁寧に決めていきます。



STEP.2 撮影

各分野のカリスマ講師が
全受講生に最高の講義を提供

それぞれの分野を、一番得意とする講師が担当。内容はもちろん映像としての質にもこだわり、実際の講義の数倍もの時間をかけて撮影します。映像講義で想像しがちな、どこかで行われた講義を撮影しておいて、他の場所でも流すというものではありません！



STEP.3 編集

CGやアニメ等も盛り込みながら
頭と心に残る映像への仕上げ

講師が解説するだけでなく、現場の映像、イラストやCG、アニメーションなどを多用。一番わかりやすい手法を採り入れながら編集します。最新機器を完備した自社のスタジオ&編集室での一貫制作だからこだわり放題。最新情報の追加なども自由自在です。



STEP.4 完成



科学に基づく 日建式学習システム

必死に頑張ることは、もちろん大切。その頑張りを確実に成果に結びつけるためのシステムも、同じくらい重要です。

脳の仕組みにこだわって、スムーズに学び、しっかり記憶する。

自然な流れでくり返される学習システムで理解を促し、知識を定着させます。

脳は覚えるより、忘れるほうが得意!?

- 生きていくために必要な情報
- 合格するために必要な情報
- その他の情報

様々な情報

情報は目や耳などから
送り込まれる

情報を 忘れる

海馬でふり落とされた
その他の情報は
消去される

情報を 記憶する

海馬で選択された情報を
大脳で保管する

情報を 選択する

海馬では生きるために
必要な情報とその他の
情報をふるい分ける

●脳における記憶の分業システム

| | | | | | |
|----|--------------------|----|---------------------|----|---------------------|
| 情報 | 脳には膨大な 情報が入ってくる | 海馬 | 情報を取捨選択して、 大脳に送る | 大脳 | 海馬から送られた 情報を保管する |
|----|--------------------|----|---------------------|----|---------------------|

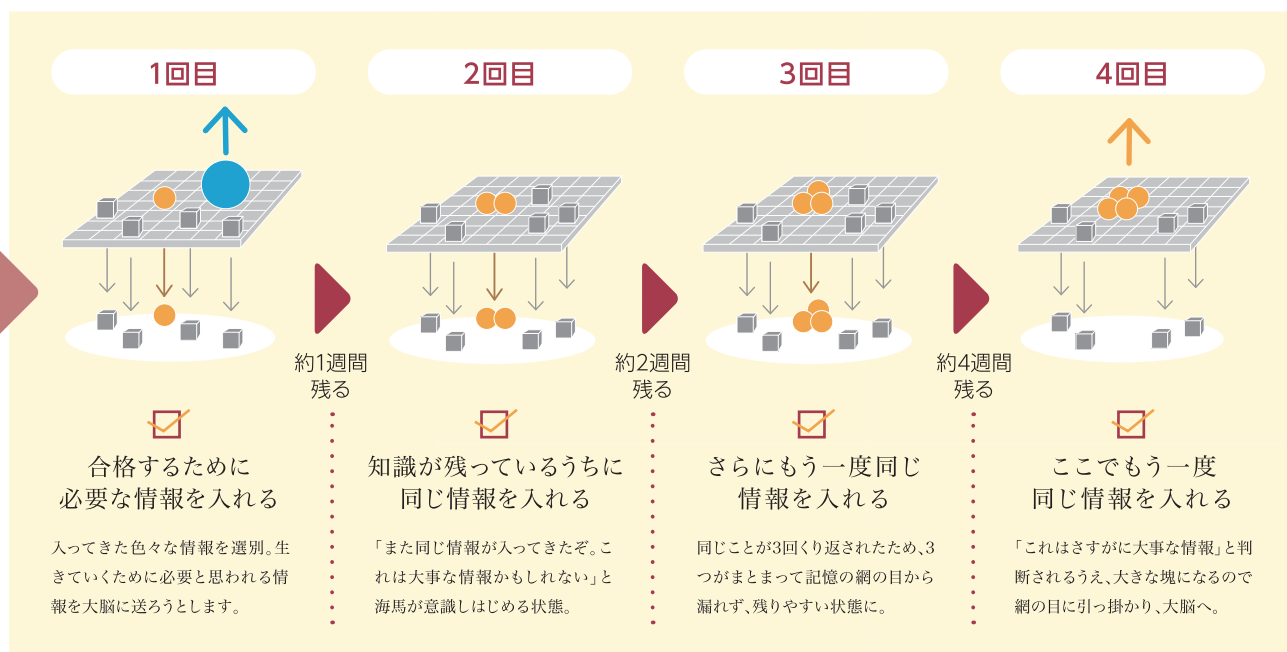
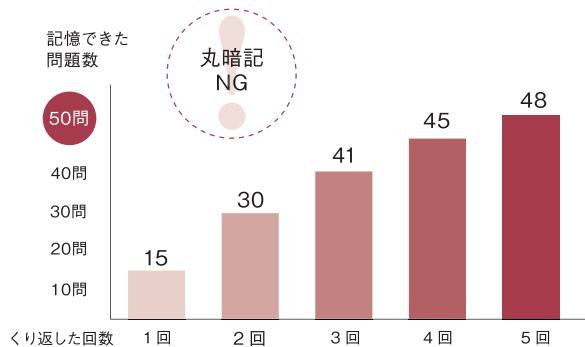
脳の仕組みを上手に利用している人が「頭の良い人」だ！

4回くり返し学習することがポイント！

くり返しと記憶の関係

(50問の問題をくり返し学習した場合)

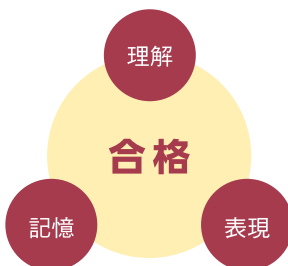
一度で覚えられないのは当たり前。「記憶力が悪い」わけではありません。記憶は、くり返し刷り込むことで定着します。くり返すことによって、誰でも覚えられることは増えていきます。



日建学院式 週間学習サイクル

1日2時間 自宅学習の習慣化！

1週間単位で確実に実行することが、合格の輪を大きくする。



01

2級土木施工管理技士とは？

土木工事のプロフェッショナルとしてスキルアップを図る第一歩

土木工事の施工計画を作成し、現場での工程管理や品質管理、安全管理などを適切に実施する為に必要な資格です。2級土木施工管理技士は、建設業法で定められた一般建設業の許可を受けている建設業者の営業所における「専任技術者」及び工事現場における「主任技術者」となることが認められています。

資格取得の
メリット

メリット
1

活躍の場を広げる第一歩

2級土木施工管理技士を取得することは、業界最高峰ライセンスのひとつとされる1級資格へとステップアップするための第一歩になります。

メリット
2

個人だけではなく、企業評価も高める

資格の取得により一人ひとりの評価を高めることは、企業としての評価を高め、企業全体の技術力評価にもつながります。

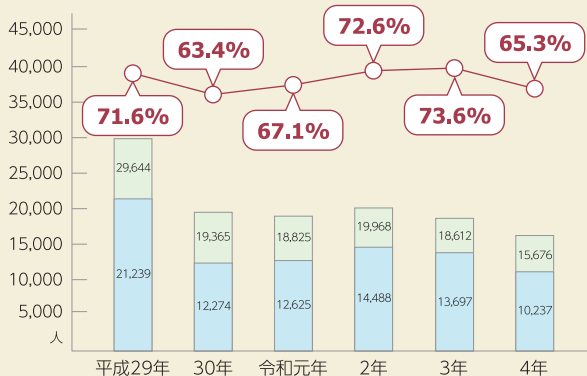
メリット
3

キャリアアップのための証として

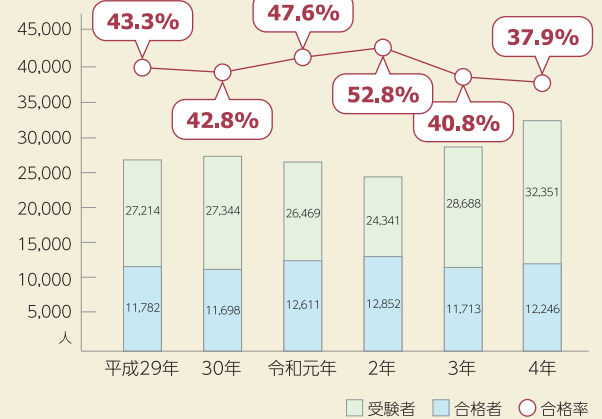
あなた自身にとっても、資格の取得は「技術的知識」と「管理能力」を備えた人材としての証となり、昇進・昇給等キャリアアップの可能性も高くなります。

check!

2級土木施工管理技士「一次(学科)後期」
受験者数・合格者数・合格率推移



2級土木施工管理技士「二次(実地)」
受験者数・合格者数・合格率推移



■ 技術検定制度の見直し (2021年4月1日施行)

〔改正前〕

1級 学科試験 合格 実地試験 合格 → 1級技士
2級 学科試験 合格 実地試験 合格 → 2級技士

称号付与

〔改正後〕

1級 第一次検定 合格 → 1級技士補 → 第二次検定 合格 → 1級技士
2級 第一次検定 合格 → 2級技士補 → 第二次検定 合格 → 2級技士

称号付与

称号付与

第一次検定

施工技術のうち基礎となる知識及び能力を有するかどうかを判定

第二次検定

施工技術のうち実務経験に基づいた技術管理及び指導監督に係る知識及び能力を有するかどうかを判定

合格者インタビュー

早めの学習スタートで、
前期一次、後期二次と着実に合格できた。



鈴木 綾太 Ryota Suzuki

勤務先の業種 土木事業

取得資格 2級土木施工管理技士

Q.学習はいつごろから、どのような方法でやっていましたか？

受検前年から早めに学習を開始し、6月の前期試験で一次検定に合格、10月の後期試験で二次検定に合格しました。日々テキストをしっかりと読んで予習に時間をかけました。そうすることで毎回講義の理解度も深まり、テストも無理なくこなすことができました。また、過去問も何度も解くようにしていました。

Q.日建学院を受講した感想はいかがでしたか？

日建学院は合格率が高く、勤務先と懇意にしているため選びました。担当の方は親切ですし、講義も要点をおさえた内容になっていてとても勉強がはかどりました。特にまだ経験のない工事内容については講座のおかげで効率よく理解できたと思います。

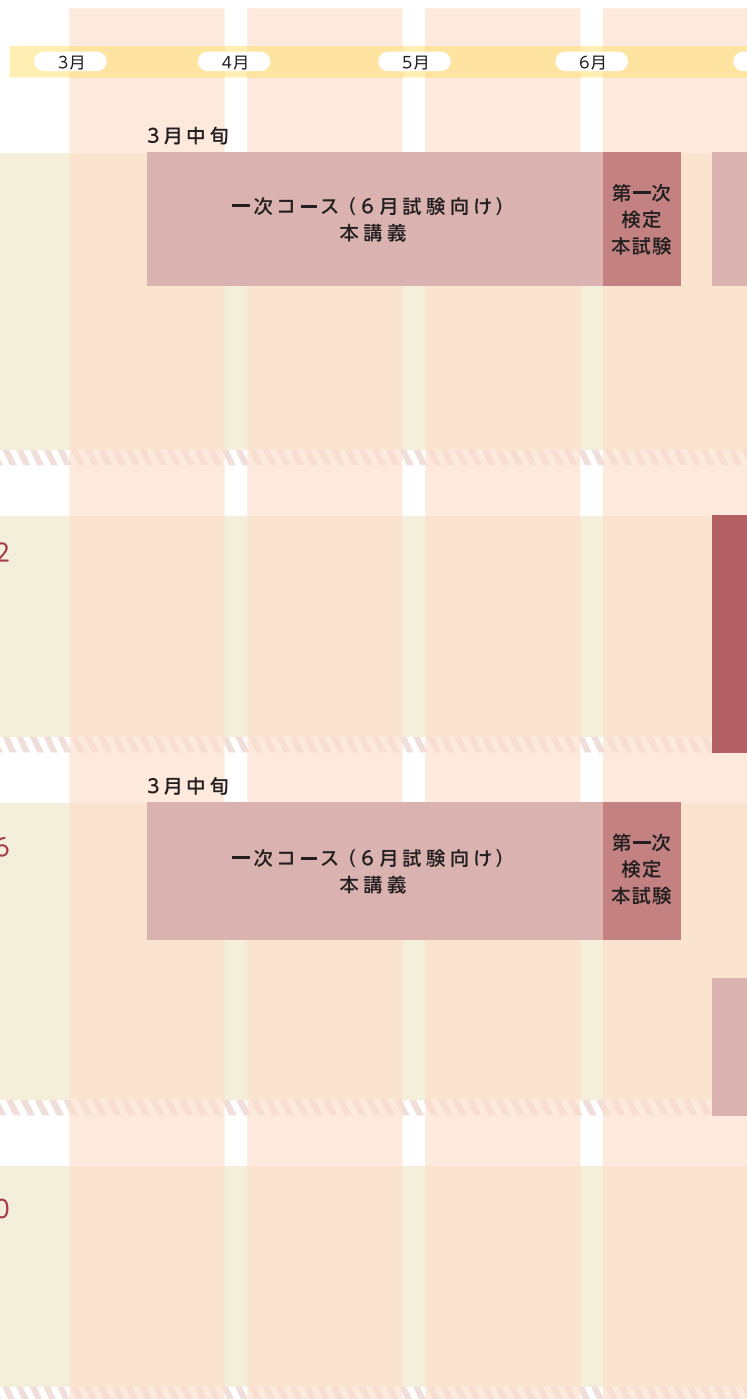
Q.資格を取って変わったことや

これからの目標は？

現場を任せられるようになったため自信が付き、視野が広がったと思います。これから様々な工種の現場を任せてもらい、施工管理技士として一人前になりたいです。



あなたの目的や状況に応じて、より効率的で効果的な学習を進めていただくために、日建学院では様々な「受講スタイル」の学習環境をご提供致し、1つの教室で仲間と学ぶ通学型、または、インターネットを通じて受講するWeb型など、それぞれ特徴を持つ学習環境の中から、ご自分に最適な



年間を通して受検対策を準備される方へ

ストレート合格パック

年度内に実施される受検機会すべてに準備をするパックです。前期試験で一次検定合格を勝ち取り、後期試験で二次検定合格のための見直し学習も同時進行させてストレート合格を目指します。

万全の準備で受検対策をする方へ

→P.12

一次・二次コース

充実したカリキュラムで一次検定・二次検定の合格を狙います。自宅学習では本講義開講までの基礎力を身につけ、本講義では毎回予習および理解度を確認する学習サイクルで、効率良く学習を進めるコースです。

一次検定合格を目指す方へ

→P.16

一次コース(6月試験向け) 一次コース(10月試験向け)

一次検定に向け効率良く学習を進めるコースです。わかりやすい教材と、理解しやすい映像講義で効果的に合格力を養います。

二次検定合格のために準備を始める方へ

→P.20

二次コース

わかりやすい講義内容で二次検定の重要ポイントを学習するコースです。二次検定に必要な知識の養成と文章力および解答力の習得を図ります。

します。
「受講スタイル」をお選びください。

初 初学者
経 受験経験者

| 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------------------------|----|----|----------------------|
| 6月下旬 | | | |
| 一次Webコース(10月試験向け) 本講義 | | | 第一次 検定 本試験 |
| 7月中旬 | | | |
| 二次コース 本講義 | | | 第二次 検定 本試験 |
| 6月下旬 | | | |
| 一次・二次コース 本講義 | | | 第一次・第二次 検定 本試験 |
| 6月下旬 | | | |
| 一次コース(10月試験向け) 本講義 | | | 第一次 検定 本試験 |
| 7月中旬 | | | |
| 二次コース 本講義 | | | 第二次 検定 本試験 |

受講料 350,000円 (税込385,000円)

対象者 初 経 **受講形式** 通学・Web

コース概要 一次コース(6月試験向け)・一次Webコース(10月試験向け)、二次コースに準じます。

学習期間 受講開始から約7ヵ月間

開講日 3月中旬～10月本試験当日まで

受講料 250,000円 (税込275,000円)

対象者 初 経 **受講形式** 通学・Web

学習期間 受講開始から約4ヵ月間

開講日 6月下旬～10月本試験当日まで

受講料 各220,000円 (税込242,000円)

対象者 初 経 **受講形式** 通学・Web

学習期間 受講開始から約3ヵ月間

開講日 6月試験向け…3月中旬～6月本試験当日まで
10月試験向け…6月下旬～10月本試験当日まで

受講料 120,000円 (税込132,000円)

対象者 初 経 **受講形式** 通学・Web

学習期間 受講開始から約3ヵ月間

開講日 7月中旬～10月本試験当日まで

※詳細は最寄りの日建学院にお問い合わせください。

一次・二次

コースの特長

受検対策のための充実したカリキュラムで合格力を養う

一次検定+二次検定対策のための充実したカリキュラムで合格力を養います。自宅学習では専門用語集やマンガテキストなど、わかりやすさを追求したオリジナル教材で、本講義までの基礎力を身につけます。本講義では、毎回の講義範囲を宿題で予習し、講義受講後のテストで理解度を確認する学習サイクルで、効果的かつ効率よく学習を進め、万全の受検体制を整えます。

■ 一次・二次コース

受講形態：通学

※本講座実施校：直営校、認定校

学習期間：受講開始から約4ヵ月間

■ 一次・二次Webコース

受講形態：Web

配信期間：6月下旬～10月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

6月下旬

入学・面接

【自宅学習用教材セット配付】

📄 面接・診断テスト

簡単な面接・診断テストで基礎レベルを判定します。

🖋️ 基礎講義

【全5回】

- 土木一般（3回）
- 法規（1回）
- 施工管理（1回）

まずは体験版へ Go!

日建学院

検索

Click!

<https://www.ksknet.co.jp/nikken/guidance/check2/>

※Web受講を希望される方は、お申込みの前に必ず、「DEMO体験版」での動作確認をお願いします。

学習形態



通学型学習



Web



給 教育訓練給付金



助 人材開発支援助成金



教材配付:7月中旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費:250,000円(税込275,000円)



教材配付:7月中旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費:250,000円(税込275,000円)

10月



総合対策講座

[20回]

一次

- 土木一般(2回)
- 法規(3回)
- 施工管理/施工管理法(3回)
- 専門土木(2回)

二次

- 経験記述対策(2回)
- 記述式問題対策I 土工(2回)
- 記述式問題対策II コンクリート工(2回)
- 記述式問題対策III 施工管理(2回)
- 二次総仕上げ(2回)



総仕上げ講座

[全4回]

- 公開模擬試験(一次)(1回)
- 公開模擬試験(二次)(1回)
(全国規模の公開模擬試験で
試験直前の総仕上げ!)
- 一次問題解説(2回)
- 修了試験
※教育訓練給付金ご利用の方のみ

第一次・第二次検定本試験

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

教育訓練給付金

働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額(上限あり)をハローワーク(公共職業安定所)から支給します。

※教育訓練給付金をご利用の場合は、利用ガイドをご確認ください。

人材開発支援助成金 対象講座

中小建設事業主が雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた場合、経費・賃金の一部を助成。(要件を満たす必要があります。)

【お問合わせ】

最寄りの都道府県労働局又はハローワークへ

※ご注意

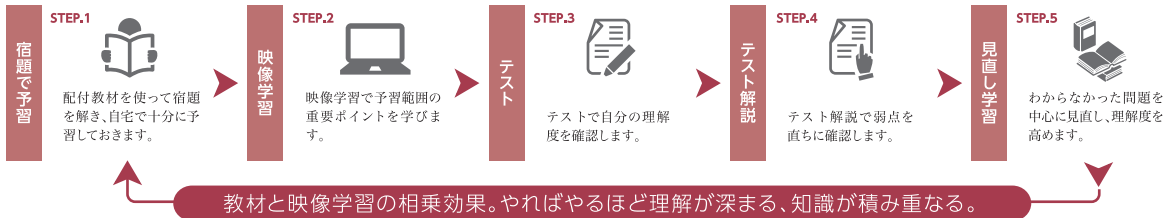
令和6年4月1日以後に本助成金制度が改正された場合には、その改正内容に準じますことをご承知ください。

■ 一次・二次コース ■ 一次・二次Webコース

| 回数 | 講義(科目・回数) | | 時間数 | テスト | 宿題 |
|-----|--------------------|------------------------|-------------|---------|----------|
| 6月 | ◇ | 特別研修会 | 30分 | - | - |
| | 1 | 土木一般① | 90分 | - | - |
| | 2 | 土木一般② | 90分 | - | |
| | 3 | 土木一般③ | 90分 | - | - |
| | 4 | 法規 | 90分 | - | |
| | 5 | 施工管理 | 90分 | - | - |
| 7月 | ◇ | オリエンテーション | 60分 | - | - |
| | 1 | 経験記述対策① | 105分 | - | - |
| 2 | 経験記述対策② | 105分 | - | - | |
| | | 経験記述実習① | 30分 | | |
| 8月 | 1 | 土木一般① | 105分 | 1回 | 一次 1・2回 |
| | 2 | 土木一般② | 105分 | 2回 | |
| | 3 | 法規① | 105分 | 3回 | 一次 3・4回 |
| | 4 | 法規② | 105分 | 4回 | |
| | 5 | 法規③ | 105分 | 5回 | 一次 5・6回 |
| | 6 | 施工管理/施工管理法① | 105分 | 6回 | |
| | 7 | 施工管理/施工管理法② | 105分 | 7回 | 一次 7・8回 |
| | 8 | 施工管理/施工管理法③ | 105分 | 8回 | |
| | 3 | 記述式問題対策I(土工) | 105分 | - | 二次 3・4回 |
| | 4 | 経験記述実習② | 105分 30分 | - | |
| 5 | 記述式問題対策II(コンクリート工) | 105分 | - | 二次 5・6回 | |
| 6 | 経験記述実習③ | 105分 30分 | - | | |
| 7 | 記述式問題対策III(施工管理) | 105分 | - | 二次 7・8回 | |
| 8 | 経験記述実習④ | 105分 30分 | - | | |
| 9 | 二次総仕上げ | 105分 | - | - | |
| 10 | 経験記述実習⑤ | 105分 30分 | - | | |
| 9 | 一次(1) | 専門土木① | 105分 | - | 一次 9・10回 |
| 10 | 一次(2) | 専門土木② | 105分 | - | |
| 10月 | 1 | 公開模擬試験(一次) | 130分 | - | - |
| | 2 | 公開模擬試験(二次) | 120分 | - | |
| | 3 | 一次問題解説① | 105分 | - | - |
| | 4 | 一次問題解説② | 105分 | - | |
| | ◆ | ◆修了試験※ | 30分 | - | - |
| 本試験 | | 2級土木施工管理技士 一次・二次検定本試験日 | | | |

※教育訓練給付金ご利用の方のみ

相乗効果を
最大限に
引き出す
学習サイクル



自宅学習用教材セット

自宅学習用教材セットは、覚えていただきたい基本的な知識を自宅において学習してもらう目的で制作されています。これらの教材を使って、講座が始まる前までに、試験に対応できる基礎力を万全にします。

- 自宅学習用テキスト
- 基本問題集 ● 用語集



マンガテキスト

※自宅学習用教材セットに含まれます。

土木施工の基本ポイントをマンガで学べる、この講座だけの特典教材。副読本として利用してください。



一次対策宿題

自宅で行う予習用の教材で、講義のポイントを事前にインプットすることを目的としています。



一次対策テスト

宿題や講義で学んだポイントの学習定着度合いを測るアウトプット教材です。テストの結果は、自己管理ノートに記録して管理します。



二次対策宿題

自宅で行う予習用の教材で、二次検定に必要なポイントを事前に記述練習することを目的としています。

出題傾向を徹底分析、わかりやすい 「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

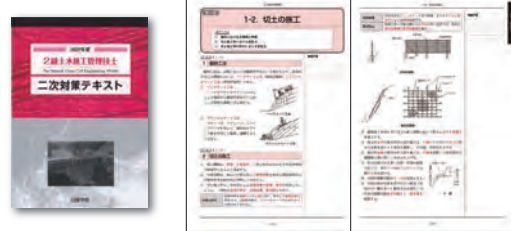
一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目標に、過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



二次対策テキスト

二次検定で出題される経験記述と記述式問題の記述解答方法やポイントを網羅したテキストです。



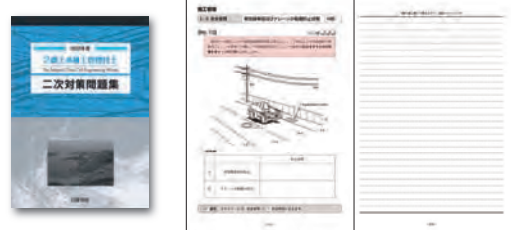
一次対策問題集

問題と解答解説が1ページで完結する構成で、ページをめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにまとめているので弱点部分の補強にも大変便利です。



二次対策問題集

二次検定で出題された記述式問題を項目ごとに編集した問題集です。くり返し書いて覚えるトレーニングおよび記述解答のコツをつかんでもらうことを目的としています。



※教材写真は過年度のものです。

2級土木
施工管理技士

一次

コースの特長

理解度を高める「オリジナル教材」と
理解しやすい「映像講義」

一次コースは、年2回実施される一次検定に対応した講座です。わかりやすさを追求した一次対策テキストは「図版が多く理解しやすい」と全国各地の工業高校でも使用されています。また、講座開講までの自宅学習用教材にもマンガで学べる副読本を含むなど、講義内容の理解度を高めるオリジナル教材を使った学習システムで、効果的かつ効率よく学習を進め、合格力を養います。

■ 一次コース (6月試験向け) (10月試験向け)

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、認定校

学習期間: 受講開始から
約3カ月間

■ 一次Webコース (6月試験向け) (10月試験向け)

受講形態: Web

配信期間: 6月試験向け: 3月中旬~6月本試験当日まで
10月試験向け: 6月下旬~10月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

6月試験向け

3月中旬

10月試験向け

6月下旬

入学・面接

【自宅学習用教材セット配付】

📄 面接・診断テスト

簡単な面接・診断テストで
基礎レベルを判定します。

🖋️ 基礎講義

【全5回】

- 土木一般 (3回)
- 法規 (1回)
- 施工管理 (1回)

学習形態



通学型学習



Web



教材配付:6月試験向け：3月下旬より
10月試験向け：7月中旬より
※入学後自宅学習用教材配付

学費:各**220,000**円 (税込242,000円)



教材配付:6月試験向け：3月下旬より
10月試験向け：7月中旬より
※入学後自宅学習用教材配付

学費:各**220,000**円 (税込242,000円)

6月

10月



一次対策講座

[全10回]

- 土木一般(2回)
- 法規(3回)
- 施工管理 / 施工管理法(3回)
- 専門土木(2回)



総仕上げ講座

[全3回]

- 公開模擬試験(一次)(1回)
(全国規模の公開模擬試験で
試験直前の総仕上げ!)
- 一次問題解説(2回)

第一
次
検
定
本
試
験

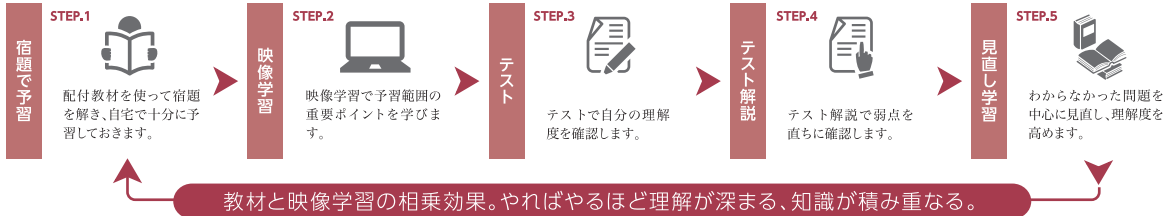
※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問合わせください。
※一次コースは、教育訓練給付金の対象外です。

カリキュラム

■ 一次コース(6月試験向け・10月試験向け) ■ 一次Webコース(6月試験向け・10月試験向け)

| 6月 試験 | 10月 試験 | 回数 | 講義(科目・回数) | 時間数 | テスト | 宿題 |
|----------|-----------|------|----------------------|------|-----|-------|
| 3月 | 6月 | ◇ | 特別研修会 | 30分 | - | - |
| | | 1 | 土木一般① | 90分 | - | - |
| | | 2 | 土木一般② | 90分 | - | - |
| | | 3 | 土木一般③ | 90分 | - | - |
| | | 4 | 法規 | 90分 | - | - |
| | | 5 | 施工管理 | 90分 | - | - |
| 4月 | 8月 | ◇ | オリエンテーション | 60分 | - | - |
| | | 1 | 土木一般① | 105分 | 1回 | 1・2回 |
| | | 2 | 土木一般② | 105分 | 2回 | |
| | | 3 | 法規① | 105分 | 3回 | 3・4回 |
| | | 4 | 法規② | 105分 | 4回 | |
| | | 5 | 法規③ | 105分 | 5回 | 5・6回 |
| | | 6 | 施工管理／施工管理法① | 105分 | 6回 | |
| | | 7 | 施工管理／施工管理法② | 105分 | 7回 | 7・8回 |
| | | 8 | 施工管理／施工管理法③ | 105分 | 8回 | |
| | | 9 | 専門土木① | 105分 | - | 9・10回 |
| 10 | 専門土木② | 105分 | - | | | |
| 5月 | 10月 | 1 | 公開模擬試験(一次) | 130分 | - | - |
| | | 2 | 一次問題解説① | 105分 | - | - |
| | | 3 | 一次問題解説② | 105分 | - | - |
| 6月 | | 本試験 | 2級土木施工管理技士 第一次検定本試験日 | | | |

相乗効果を
最大限に
引き出す
学習サイクル



自宅学習用教材セット

自宅学習用教材セットは、覚えていただきたい基本的な知識を自宅において学習してもらう目的で制作されています。これらの教材を使って、講座が始まる前までに、試験に対応できる基礎力を万全にします。

- 自宅学習用テキスト ● 基本問題集 ● 用語集



マンガテキスト

※自宅学習用教材セットに含まれます。
土木施工の基本ポイントをマンガで学べる、この講座だけの特典教材。副読本として利用してください。



宿題

自宅で行う予習用の教材で、講義のポイントを事前にインプットすることを目的としています。



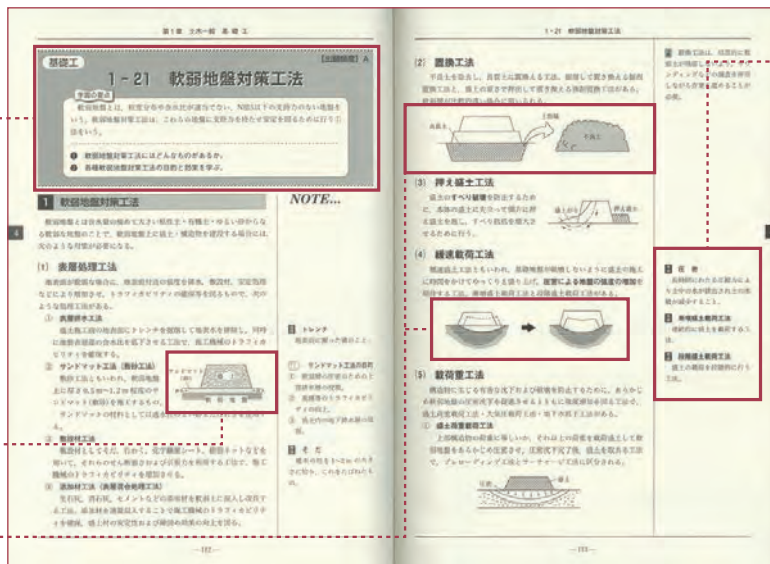
テスト

宿題や講義で学んだポイントの学習定着度合いを測るアウトプット教材です。テストの結果は、自己管理ノートに記録して管理します。

出題傾向を徹底分析、わかりやすい 「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。
重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい



各章の始めにまとめた「学習の要点」でポイントを把握

図や写真が多く理解しやすい

「解説解説」と「関連アドバイス」が丁寧で見やすい

用語
重要な用語には、解説と表や図解を掲載

関連項目

他の章に関連する内容がある時は参照を記載して、融合問題に対応

ポイント欄

重要事項の要点を抜粋

注意欄

間違えやすい部分には先回りして解説を掲載

ORIGINAL TEXT 一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目標に、過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



ORIGINAL TEXT 一次対策問題集

問題と解答解説が1ページで完結する構成で、ページをめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにまとめているので弱点部分の補強にも大変便利です。



※教材写真は過年度のものです。

二次

コースの特長

二次検定に必要な知識の養成と
文章力及び解答力を習得する

二次コースは、二次検定に対応した講座です。二次検定は筆記で解答する試験ですので記述解答に慣れることが重要となります。講義では、解答を導くために必要な知識の養成と、実際に問題を解いて筆記で解答するといった、より実践的な形式を取り入れ、文章力及び解答力を高めていきます。

■ 二次コース

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、認定校

学習期間: 受講開始から
約3カ月間

■ 二次Webコース

受講形態: Web


配信期間: 7月中旬～10月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

7月中旬

| 回数 | 講義内容 | 講義範囲 |
|----|----------------------|---------------------------------------|
| 1 | 経験記述対策 | 経験記述の出題内容 答案記入上のポイント 文章の書き方 |
| 2 | | 経験記述の作成 経験記述文章の添削事例 経験記述実習① |
| 3 | 記述式問題対策I 土 工 | 土工の出題ポイント |
| 4 | | 経験記述実習② |
| 5 | 記述式問題対策II コンクリート工 | コンクリート工の出題ポイント |
| 6 | | 経験記述実習③ |

学習形態

 通学型学習

 Web



教材配付:7月中旬より

学費: **120,000**円 (税込132,000円)



教材配付:7月中旬より

学費: **120,000**円 (税込132,000円)

10月

第二次検定本試験

| 回数 | 講義内容 | 講義範囲 |
|----|------------------|----------------------|
| 7 | 記述式問題対策Ⅲ 施工管理 | 施工管理の出題ポイント |
| 8 | | 経験記述実習④ |
| 9 | 二次総仕上げ | 経験記述の最終確認 記述式問題解説 |
| 10 | | 経験記述実習⑤ |
| 11 | 公開模擬試験 | 二次検定出題範囲全般 |

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
 ※二次コースは、教育訓練給付金の対象外です。
 ※各校により開講時期が異なります。
 詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

カリキュラム

■ 二次コース ■ 二次Webコース

| 回数 | | 講義(科目・回数) | 時間数 | 宿題 | |
|------|----|----------------------|--------------------|------|------|
| 7月 | 1 | 経験記述対策① | 105分 | - | |
| | 2 | 経験記述対策② | 105分 | - | |
| | | 経験記述実習① | 30分 | | |
| | 3 | 記述式問題対策I[土工] | 105分 | 3・4回 | |
| | | | 105分 | | |
| | 4 | 経験記述実習② | 30分 | | |
| | 9月 | 5 | 記述式問題対策II[コンクリート工] | 105分 | 5・6回 |
| | | | | 105分 | |
| | | 6 | 経験記述実習③ | 30分 | |
| | 9月 | 7 | 記述式問題対策III[施工管理] | 105分 | 7・8回 |
| 105分 | | | | | |
| 8 | | 経験記述実習④ | 30分 | | |
| 9月 | 9 | 二次総仕上げ | 105分 | - | |
| | | | 105分 | | |
| | 10 | 経験記述実習⑤ | 30分 | | |
| 10月 | 1 | 公開模擬試験(二次) | 120分 | - | |
| | | | | | |
| 本試験 | | 2級土木施工管理技士 第二次検定本試験日 | | | |



二次対策テキスト

二次検定で出題される経験記述と記述式問題の記述解答方法やポイントを網羅したテキストです。



二次対策問題集

二次検定で出題された記述式問題を項目ごとに編集した問題集です。くり返し書いて覚えるトレーニングおよび記述解答のコツをつかんでもらうことを目的としています。



宿題

自宅で行う予習用の教材で、必要なポイントを事前に記述練習することを目的としています。

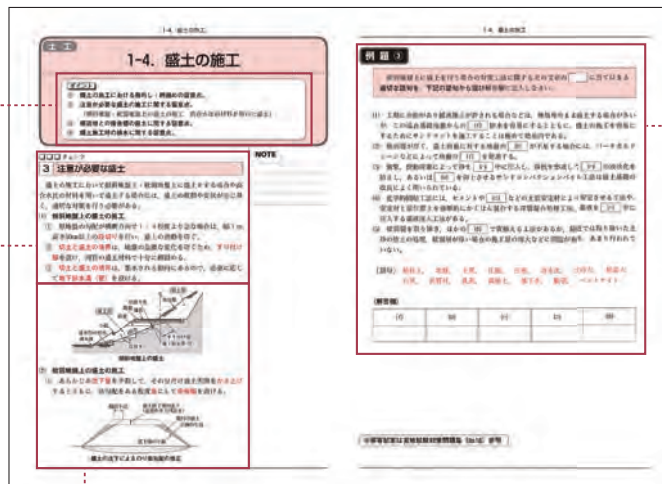
出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい

記述式問題の出題項目ごとに、これから学習する項目のポイントを掲載！

記述解答する上で必要な留意事項等を掲載！ポイントとなる重要語句などは赤字で表示しており、どのような事項を記述解答しなければならぬかが一目瞭然！



図やイラストなどを併記し記述解答のポイントをイメージしやすくしています。

項目ごとに関連する例題を掲載！解答となる記述ポイント(留意事項等)を理解した上で、例題にチャレンジ。各項目の理解度を高めていきます。

※教材写真は過年度のものです。

施工経験記述の対策

二次検定は「経験記述」と「記述式問題」からなる筆記試験

近年のテーマ(管理項目)

2019年

「現場で工夫した品質管理」又は「現場で工夫した工程管理」

2020年

「現場で工夫した安全管理」又は「現場で工夫した工程管理」

2021年

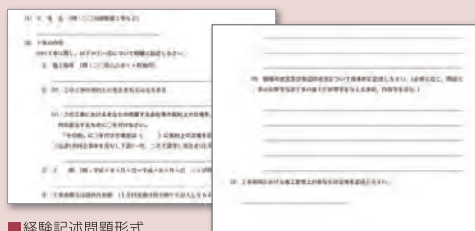
「現場で工夫した安全管理(ただし、交通誘導員の配置のみに関する記述は除外)」又は「現場で工夫した品質管理」

2022年

「現場で工夫した品質管理」又は「現場で工夫した工程管理」

▼経験記述とは？

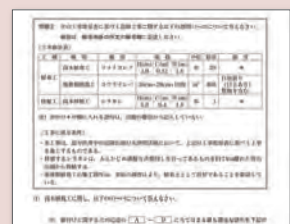
土木工事における施工管理の経験があるかどうかを判断するための試験です。自分の現場経験を、指定されたテーマ(管理項目・課題)にしたがって記述解答します。



■経験記述問題形式

▼記述式問題とは？

土工、コンクリート工、施工計画、安全管理、品質管理等に関する問題を文章によって記述解答する試験です。



万全の サポートシステム

合格までの道のりを支えきる。そのために、学習面のサポートはもちろんのこと、
厳しい受験期間に遭遇するさまざまな迷いや不安にも、共に立ち向かいます。
二人三脚で歩む担当パートナー。急な出張や転勤にも即対応する日建学院のネットワーク。
学習を続けやすい、効果が出せるサポート体制です。

万が一の欠席も心配なし、 忙しい社会人をフォロー

欠席フォローシステム

仕事などの都合や諸事情で欠席しても、規定の回数までは欠席分の講義を個別学習ルームで受講可能(予約制)。学習の遅れを取り戻すことができます。忙しい社会生活の中で合格を目指す受講生を、万全の体制で支えます。



個別ブースで あなただけの学習環境を

補習や自習にも使える個別ブース

日建学院の個別ブースは全席パソコン設置です。周囲を気にせず自分のペースで補習や自習ができます。(予約制)



何でも相談、 合格まで二人三脚で 親身にサポート

ライセンスアドバイザー

受講生一人ひとりに担当者がつき、入学から本試験まで、さまざまなサポートをします。出欠や成績の管理、学習面のアドバイスからメンタル面の悩みまで親身に対応。まさに二人三脚で、合格までの道のりを共に歩みます。



全国一斉、 同一講義だから、 出張や転勤時も安心

聴講サポート

出張などで、いつもの通学校で受講できない場合も安心です。事前に予約すれば、全国の主要校の教室で聴講することが可能。全国どこの教室でも同一講義を行っているので、学習進度が異なる心配もありません。



疑問や不明点は メールでその都度解決

質問対応システム

講義や自宅学習、テキストやテストなどで疑問や不明点を感じたら、質問対応システムを活用。専門メール対応なので気軽に質問できます。わからない点は放置せず、早めに解決することが合格への近道です。



